

U16(中学生)陸上競技選手権大会 競技注意事項

- 1 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。第162条の5については適応しない。不正出発をした選手は、そのレースは失格となる。
- 2 トラック競技は、すべてタイム決勝とする。なおトラック競技において、同タイムの場合、千分の一までを確認し、それでも同じ場合は同順位とする。
- 3 本競技場は全天候型なので、競技に使用するスパイクピンは全天候型のものとし、9mm以下のものを使用すること。
(走高跳は12mm以下とする。)
- 4 ハードルの高さおよびインターバル、砲丸の重さは次のとおりとする。
男子110mH 高さ 91.4cm インターバル 9.14m
女子100mH 高さ 76.2cm インターバル 8.00m
男子砲丸投 (5.0kg)
女子砲丸投 (2.721kg)
- 5 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。
共通男子走高跳 1m50-55-60-65-70-73…以後3cmずつ (練習は1m50と1m60)
共通女子走高跳 1m30-35-40-45-48…以後3cmずつ (練習は1m30と40)
共通男子棒高跳 2m00-20-40-60-80-3m00-20-40…以上10cmずつ
- 6 走幅跳の試技は3回までとし、上位8名はさらに3回の試技を行う。
- 7 砲丸投の試技は3回までとし、上位8名はさらに3回の試技を行う。
- 8 フィールド種目の試技は、開始の合図から1分以内に試技を済ませなければならない。
- 9 競技者は、学校名及びクラブチームのアスリートビブス (ナンバーカード) を胸背部に正しく付けること。(走高跳・走幅跳棒高跳の選手は、胸部・背部のいずれか一方に着ければよい。) アスリートビブスのない競技者は出場できない。トラック競技の腰ナンバー標識は、招集所で受け取り、パンツの右側やや後方に着ける。競技終了後はフィニッシュ地点で役員に返却すること。共通男子3000m (胸背部)、男女1500mでは (胸部) 別のアスリートビブスを使用する。競技終了後は、フィニッシュ地点で役員に返却すること。
- 10 競技のレーン順、試技順は、プログラムに記載されている順とする。
- 11 招集について
 - ①招集は、すべて第4コーナーゲート付近で行う。
 - ②招集開始時刻・完了時刻は、プログラムに記載されている通りとする。
 - ③代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者はあらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集開始時刻までに、所定の用紙 (同時二種目出場届) に記入し競技者係に提出すること。なお、用紙は招集所に用意する。
 - ④招集を受けていない競技者は棄権とみなして処理する。招集時刻に遅れた競技者は出場できない。また、招集所には点呼を受ける競技者以外入らないこと。
 - ⑤競技を棄権する場合、棄権届 (陸協指定の用紙) を競技者係に提出すること。用紙は、「招集所・競技者係」に用意する。
- 12 トラック競技のフィニッシュ後は、指示されたゲートより退場すること。
- 13 補助競技場には学校からの練習用具の持ち込みはできない。また、ハードルは会場に設置してあるものを共用して使うこと。
- 14 記録の発表は掲示板にて掲示・発表する。
- 15 表彰は、各種目の8位までの入賞者に表彰状、1位～3位にメダルを授与するので、競技終了後、順位が確定したら、すみやかに正面ロビーに集合すること。